

研 究 分 野	生態系	部 名	調査普及部
研 究 課 題 名	内水面外来魚管理対策事業調査		
予 算 区 分	漁業調整費 (国 1 / 2) (令達)		
試験研究実施年度・研究期間	H.10 ～ (今回報告：H.15)		
担 当	二木 幸彦		
協 力 ・ 分 担 関 係	百石町漁協、小川原湖漁協、廻堰大溜池内水面漁協、七戸川内水面漁協		

〈目的〉

繁殖力が強く、内水面の有用魚種に悪影響を与える外来魚（オオクチバス、コクチバス、ブルーギル）について、駆除の指導、生態調査等を実施する。

〈試験研究方法〉

1 生態調査調査

百石町根岸堤、明神川(下流部)、下田町間木堤及び六戸町さつき沼における持網（明神川においては投網も使用）による外来魚の調査

2 駆除の指導

上北町 小川原湖、鶴田町 廻堰大溜池（津軽富士見湖）、七戸町 和田ダム等における外来魚駆除の指導・採捕した外来魚の測定

〈結果の概要〉

1 生態調査調査（表 1）

○2002 年 7 月、十和田県土整備事務所による明神川魚介類調査において、下流部のラバー堰上流側でオオクチバス（体長 3cm 未満 1 尾、12.8cm1 尾）及びブルーギル（体長 6cm 未満 1 尾）が確認されている。

○県内では、ブルーギルについて、公的試験研究機関による現物確認が行われていなかったことから、当研究所において、2003 年 7 月、上流部の堤・沼も含めて、調査を行った。

○根岸堤において、ブルーギルの稚魚 126 尾、オオクチバスの稚魚 97 尾を採捕、両種が繁殖していると考えられた。

○明神川下流部において、オオクチバスの稚魚 3 尾（全長 5cm 未満）を採捕した。

○間木堤及びさつき沼においては、ブルーギル、オオクチバス何れも、採捕されなかった。

2 駆除の指導（表 1、2）

○根岸堤では、水抜き後、刺網、地曳網による駆除を行ったが、泥が深く、地曳網は最初の操業で破損した。

○小川原湖漁協では、小川原湖及び姉沼に設置されている胴網、袋網及び刺網で採捕したオオクチバス、小田内沼で遊漁者が釣ったオオクチバスを回収した。小川原湖の採捕尾数は 111 尾で、2001 年 1,081 尾、2002 年 1,005 尾に比べて少なかった。

○廻堰大溜池では、第 1 回駆除釣り大会が開催され、89 名が参加し、30 尾のオオクチバスを採捕した。オオクチバス料理の試食会や外来魚問題についての説明も行った。水抜き後、地曳網による駆除での採捕尾数は 8 尾で、2001 年 192 尾、2002 年 92 尾と比べて少なかった。

○和田ダムでは、2002 年のように水抜きが実施できず、平常水位で刺網による駆除を行ったところ、採捕尾数は 9 尾で、2002 年の 69 尾に比べて少なかった。

〈主要成果の具体的なデータ〉

表1 ブルーギル・オオクチバスの魚体組成

場 所	根岸堤(百石町)			
実施月日	7/18		10/17~29	
採捕漁具	持網(県調査)		刺網、地曳網(水抜き)	
区 分	ブルーギル	オオクチバス	ブルーギル	オオクチバス
採捕尾数	126	97	58	48
測定尾数	111	94	42	27
全長:cm				
0~5	70	93		
5~10	41	1	5	
10~15			7	
15~20			11	5
20~25			19	3
25~30				7
30~35				9
35~40				3

表2 オオクチバスの魚体組成

場 所	小川原湖 (上北町)	姉沼 (上北町)		小田内沼 (三沢市)	廻堰大溜池 (鶴田町)		和田ダム (七戸町)
実施月日	1/24~12/17	7/12	10/10	8/12~10/3	8/10	9/8~9	9/25~26
採捕漁具	胴網、袋網	刺網	袋網	釣り	釣り(駆除 釣り大会)	地曳網 (水抜き)	刺網
採捕尾数	111	1	230	7	30	8	9
測定尾数	92	1	230	7	14	5	9
全長:cm							
0~5	19		212				
5~10	22		18				
10~15	15						
15~20	16			2	1		
20~25	6				2		
25~30	7			2	4		9
30~35	4			3	2	1	
35~40	2	1			2	1	
40~45	1				1	1	
45~50					1	2	
50~55					1		

〈今後の問題点〉

- 外来魚の効率的駆除の実施
- 小川原湖では接続する湖沼・ため池での外来魚調査・駆除の実施

〈次年度の具体的計画〉

- 生態調査調査：根岸堤（6～10月）
- 駆除の指導：本年度と同水域（具体的な方法は今後関係者間で協議）

〈結果の発表・活用状況等〉

- 各水域の調査結果報告書を関係機関に送付
- 今後の駆除方法検討のため、各水域の検討会等で調査結果を報告